## 自己評価票

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I.	理念に基づく運営			
1.	理念と共有			
	〇地域密着型サービスとしての理念			
	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独 自の理念をつくりあげている	美郷会並びにグループホームの理念を作りその理 念を基本に判断している		
	〇理念の共有と日々の取り組み			
2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	理念を表記し周知している。毎年、その年度の目標を作っている		
	○家族や地域への理念の浸透			
3		家族会の場で話す機会を持ち、地域の行事等に参加している		
2.	地域との支えあい			
	〇隣近所とのつきあい			
4	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように 努めている	建物の構造上、特別養護老人ホーム(4階建)の 1階の奥にあり一般の住宅から離れている為、行き来はややしにくい		
	〇地域とのつきあい	自治会のコミュニチィ祭りや保育園の運動会に参		
5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治芸のコミューディ宗りや保育園の運動芸に参加している。それ以外にも、地域から声かけしてもらうが心身の状況等の理由で行けないケースがある		
			•	

	項  目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	〇事業所の力を活かした地域貢献			
6	利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	特になし		
3.	理念を実践するための制度の理解と活用			
	〇評価の意義の理解と活用			
7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果について話し合い改善に取り組む話し合いの場を作っている		
	○運営推進会議を活かした取り組み			
8	運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	利用者の状況や問題点等報告し話し合っている		
	〇市町村との連携			
9	事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	地域包括支援センターの指導のもと、近隣地域の グループホームで集まる機会を持ち意見交換が出 来た		
	〇権利擁護に関する制度の理解と活用			
10	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、制度について学びあい活用の必 要性を話し合っている		
	〇虐待の防止の徹底			
11	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成しており施設内研修や毎月の全 体会議などで話し合いをしている		

	項  目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.	理念を実践するための体制			
10	〇契約に関する説明と納得 	十分に説明し、変更等がある時はその都度、契約		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者 や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	書を取り交わしたりしている		
	○運営に関する利用者意見の反映			
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々傾聴するように努め、苦情意見箱を設けている		
	○家族等への報告			
	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会で報告また家族が来所の際は、個々に写真 をみていただいたり近況報告をしている		
	○運営に関する家族等意見の反映			
	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートを実施、要望・苦情等記入して頂き、 職員会議で話し合っている		
	○運営に関する職員意見の反映			
	運営者や管理者は、運営に関する職員の 意見や提案を聞く機会を設け、反映させて いる	面談や会議の際に聴き反映させている		
	〇柔軟な対応に向けた勤務調整			
	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員 を確保するための話し合いや勤務の調整に 努めている	勤務人数の確保が出来る様、調整している		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	〇職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	担当者をなるべく固定し家族へも周知している		
5.	人材の育成と支援			
	〇職員を育てる取り組み			
19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて 育成するための計画をたて、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	毎月の法人内勉強会、2ヵ月毎の事業所内勉強会 に参加し、その内容を回覧している		
	〇同業者との交流を通じた向上			
20	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣地域で運営している6グループホームの代表で交流会を持ったが他施設の見学も心がけ参考にしている	·	
	〇職員のストレス軽減に向けた取り組み			
21	運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	悩みや相談があれば気軽に相談する雰囲気作りを 心がけている		
	〇向上心を持って働き続けるための取り組 み			
22	運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	特定の人に負担がかからないようにしたり悩みが あれば声をかけ聞くように気配りしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
П.	安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1.	相談から利用に至るまでの関係づくりとその	)対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困って いること、不安なこと、求めていること等 を本人自身からよく聴く機会をつくり、受	本人と面会し話し合いをするようにしている			
	けとめる努力をしている				
	○初期に築く家族との信頼関係				
24		見学、申し込みの時点から家族が不安を持っていることを出来るだけ聴くように努めている			
	〇初期対応の見極めと支援				
25	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に応じて他のサービスについての説明やアド バイスもしている			
	○馴染みながらのサービス利用				
26	利用するために、サービスをいきなり開始	入所者の気持ちを大事にしながら安心感を早く もって貰うように心配りをしているし、職員や家 族で協力しながら進めている			
2.	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共 にし、本人から学んだり、支えあう関係を 築いている	生活の中で、得意なことをしてもらう場面を持 ち、職員は、時には教えてもらう姿勢をとる			

	項  目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	〇本人を共に支えあう家族との関係			
28	職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を 支えていく関係を築いている	本人にとっての家族の重要性を理解していただく よう話し協力してもらえるよう努めている	0	来所の少ない家族に対して定期的な連絡をする
	〇本人と家族のよりよい関係に向けた支援			
29	これまでの本人と家族との関係の理解に 努め、より良い関係が築いていけるように 支援している	本人が家族に対する思い、家族の本人への思いを聞く機会を持つようにしている		
	○馴染みの人や場との関係継続の支援			
	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	入所まで利用していた理髪店を利用したり、囲碁 の仲間に来てもらったりしている		
	〇利用者同士の関係の支援			
31	利用者同士の関係を把握し、一人ひとり が孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	気のあった者同士が同テーブルとなるよう考えたり、さりげなく誘導している		
	○関係を断ち切らない取り組み			
	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も気楽に来てもらうように心掛けているが 家族の方が1年も過ぎると、こられなくなるケー スが多い		

	項  目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)		
ш.	Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.	一人ひとりの把握					
	〇思いや意向の把握					
33	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している	一人一人の希望を把握できるよう傾聴する時間を 持つ。又、家族からの情報を得る				
	〇これまでの暮らしの把握					
34	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている	家族が来所時には本人のこれまでの様子を聞き参 考にしている				
	〇暮らしの現状の把握					
35	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の生活のパターンを把握し変化に注意している				
2.	本人がより良く暮らし続けるための介護計画	」 ☑の作成と見直し				
	〇チームでつくる利用者本位の介護計画					
36	本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	本人の生活歴等の情報をえながら家人や本人との 日頃の会話のなかから希望を見つけカンフアレン スを行い介護計画を作成している				
	〇現状に即した介護計画の見直し					
37	介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	6ヶ月ごとに見直しを行い状態の変化や新たな要望があればその都度見直したり介護計画に追加している				

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	〇個別の記録と実践への反映			
38	日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	日々の様子を記事にし個別のケアーについては、 ノートに記入し介護計画に反映している		
3.	多機能性を活かした柔軟な支援			
	〇事業所の多機能性を活かした支援			
39	本人や家族の状況、その時々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	併設協力病院が同法人で医療連携が出来ており本 人や家族の希望も聞きながら通院や入院等柔軟に 対応している		
4.	本人がより良く暮らし続けるための地域資源	<b>ほとの協働</b>		
	〇地域資源との協働			
40	本人の意向や必要性に応じて、民生委員 やボランティア、警察、消防、文化・教育 機関等と協力しながら支援している	民生委員より地域の行事について情報を得ている		
	〇他のサービスの活用支援			
41	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望で遠方への外出は外部のヘルパーを利用したりしている		
	〇地域包括支援センターとの協働			
42	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護 や総合的かつ長期的なケアマネジメント等 について、地域包括支援センターと協働し ている	2ヶ月毎に運営委員会を開催し問題点や協力して もらいたいことは話し合っている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	〇かかりつけ医の受診支援			
43	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週1回、協力病院から往診に来てもらい健康状態を診てもらったり相談している		
	○認知症の専門医等の受診支援			
44	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築 きながら、職員が相談したり、利用者が認 知症に関する診断や治療を受けられるよう 支援している	看護師を通じて必要なら心療内科や精神科などそれぞれの専門化に診てもらうようにしている		
	〇看護職との協働			
45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域 の看護職と気軽に相談しながら、日常の健 康管理や医療活用の支援をしている	協力病院の在宅医療部看護師やグループホームの 看護師に相談し指示を受けながら支援している		
	〇早期退院に向けた医療機関との協働			
46	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	併設の医療機関に入院するケースがほとんどなので利用の情報を得やすく絶えず連絡を取り早急に 退院受け入れ出来る様にしている		
	○重度化や終末期に向けた方針の共有			
47	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りについての説明を家族にも行いマニュアル も作り、それにもとづいて看護師や医療機関とも 密接に情報交換している		
	○重度化や終末期に向けたチームでの支援			
48	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人・家族の希望を尊重しつつグループホーム内 で、出来ること、出来ないことを検討している		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	○住み替え時の協働によるダメージの防止				
49	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	資料や情報交換を看護師を交え行い最善の方法を 考えている			
IV.	その人らしい暮らしを続けるための日々	の支援			
1.	その人らしい暮らしの支援				
(1	)一人ひとりの尊重				
	〇プライバシーの確保の徹底				
50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	施設全体の研修や職場会議を通じて注意している			
	〇利用者の希望の表出や自己決定の支援				
51		本人の思いを聞くように努め、意思表示が困難な利用者は家族から情報を得るようにしている			
	〇日々のその人らしい暮らし				
52		利用者の個々の状態・状況を確認しながら常に対応している			
(2	(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
	〇身だしなみやおしゃれの支援				
53	その人らしい身だしなみやおしゃれがで	併設の施設に毎週来ている理・美容を本人・家族 の希望で利用している。また、入居前からのかか りつけがある方は理髪師にきてもらっている			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	〇食事を楽しむことのできる支援				
54	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の出来る範囲で手伝いを依頼しながら楽し く食事が出来る様に工夫している			
	〇本人の嗜好の支援				
55	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物、おやつは、本人の嗜好を考慮し時には手 作りをしている			
	○気持よい排泄の支援				
56	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各自の排泄のパターンを知り、必要な方には声かけやトイレ誘導をしている			
	〇入浴を楽しむことができる支援				
57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	出来るだけ希望に添うよう本人の意思を確認して 入浴して頂いている			
	〇安眠や休息の支援				
	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	一人一人の日々の体調をみながら臥床を促したり 休息していただいたりしている			
(3	(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援				
59		花の水やり、囲碁など本人の趣味を知り、生活の中に取り入れるよう配慮している			

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	〇お金の所持や使うことの支援				
	職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	小額を管理できる方には所持して頂き、売店や買 物のとき自分で払ってもらっている			
	〇日常的な外出支援				
61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	季節ごとの行事、外食、散歩、買物などで外出し ている			
	〇普段行けない場所への外出支援				
	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとに花見で外出したり買物に行ったりして いる			
	○電話や手紙の支援				
63	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援を している	グループホーム内の電話や公衆電話の利用、手紙 を書いている方もおられる			
	○家族や馴染みの人の訪問支援				
64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	家族、趣味の仲間が訪問できるよう支援している			
(4	(4)安心と安全を支える支援				
	○身体拘束をしないケアの実践				
	運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	身体拘束の内容を理解し、拘束をしないケアーに 取り組んでいる			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設全体の空間が広いメリットを活かし出来るだけ自由に動き回ってもらうが転倒のリスクもあり付き添い、見守りをしている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	常に利用者の居場所や様子を把握し転倒したりしないよう気を配り安全を心掛けている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	一人一人の状態に合わせて居室で使用、保管して いただいている		
	〇事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告書の作成、リスク委員会 で話し合っている		
	〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行っている	看護師をまじえた勉強会に参加したり、必要時に はその都度勉強している		
71		消防署員立会いのもと避難訓練消火器の使い方の 指導を受けておりマニュウアルも作成している		

	2007   1077				
	項  目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
72	〇リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	出来るだけ本人の行動に合わせて介護することを 伝えている			
(5		 の支援	l		
	〇体調変化の早期発見と対応				
73	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	発見した情報は、申し送りで共有し、職員全員が 対応出来る様にしている			
	〇服薬支援				
74	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬、頓服について薬情で内容を理解している。症状が変化したときは、医療機関に報告している			
	〇便秘の予防と対応				
	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取や身体を動かすように努めている			
	〇口腔内の清潔保持				
76	ロの中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	自分で出来る方はしてもらい、出来ない人は支援 している			
	〇栄養摂取や水分確保の支援				
77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量をチェツクし記録しており、月に一 度管理栄養士との話し合いを持っている			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	〇感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めが あり、実行している (インフルエンザ、疥 癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュウアルがあり、予防対策の講習会にも参加 している			
	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場として の台所、調理用具等の衛生管理を行い、新 鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	日々、衛生管理の点検を行い新鮮な食材を使用、 調理後2時間以内に食べて頂いている			
	<ul><li>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</li><li>(1) 居心地のよい環境づくり</li></ul>				
	〇安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親し みやすく、安心して出入りができるよう に、玄関や建物周囲の工夫をしている	庭が広く、花や畑にも食材を栽培している			
81	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとっ て不快な音や光がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	壁面の飾りや月のカレンダーを手作りし季節感が 出るよう気を配っている			
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気 の合った利用者同士で思い思いに過ごせる ような居場所の工夫をしている	独りになれる場所や談笑出来るソフアがある			

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
		仏壇を部屋に置いたり、写真を飾るなど本人の希 望にあわせている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに居室内やリビングの温度調整を行い、朝 は必ず窓を開けて換気を行う		
(2	)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	バリアフリーで使用しやすいドアー、手すりの設 置などの配慮をしている		
86	〇わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	自席が分かるように名前を貼ったりトイレの表示 を大きくしたり各自に合わせて工夫している		
87		庭の散歩、テラスでのおやつ時間などで活用して いる		

	部分は外部評価との共通評価項目です
30000000	のカは外の計画との共通計画項目です

項  目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を〇印で囲むこと)		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方 の意向を掴んでいる	0	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ご す場面がある	0	<ul><li>①毎日ある</li><li>②数日に1回程度ある</li><li>③たまにある</li><li>④ほとんどない</li></ul>	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らし ている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生 きした表情や姿がみられている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出か けている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で 不安なく過ごせている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安な こと、求めていることをよく聴いてお り、信頼関係ができている	0	①ほぼ全ての家族と ②家族の 2 / 3 くらいと ③家族の 1 / 3 くらいと ④ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人 や地域の人々が訪ねて来ている	0	<ul><li>①ほぼ毎日のように</li><li>②数日に1回程度</li><li>③たまに</li><li>④ほとんどない</li></ul>	

項目			取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を〇印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る	0	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	0	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う	0	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う	0	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者個々の傾向や好み、日々の心身の状態を考慮しながら、全職員がそれぞれにあった無理のない接し方をするよう努めている。また、部屋の中に閉じこもらないように、外出行事で食事会を行ったり、ストレスがたまらないように散歩や併設の特別養護老人ホームとデイサービス合同で行われている様々なボランティアによる催事に積極的に参加させたりしている。